7月の日程 役員になって声を上げよう

第 18 期役員への立候補募集中!

J-WING
日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 291(17−13)
2026 年 6 月 30 日

Tel:03-5756-8690 URL http://www.jlu.co.jp e-mail honbu@jlu.co.jp

日付	7 月の取り組み
1	フェニックスビラ 7:30～8:30
2	
3	夏期一時金支払日 一時金
4	
5	
6	
7	中央執行委員会 ＆航空連情報交換会
8	中央執行委員会 ＆航空連情報交換会
9	整本労協 15:30～16:30
10	
11	
12	
13	NPZ 労協 10:50～11:50
14	PM 中央執行委員会
15	

第 18 期組合役員選挙

日付	7 月の取り組み
16	
17	
18	
19	
20	
21	PM 中央執行委員会 HMZ 労協
22	
23	
24	
25	航空連代表者会議
26	
27	
28	PM 中央執行委員会
29	CSZ 労協 15:30～16:30
30	
31	

第 18 期組合役員選挙

役選期間中に中執、中央委員、支部委員、大会代議員の選出を！

役員選挙に立候補を

第 18 期の組合役員の立候補を 7 月 21 日まで受け付けます。17 期の中央執行委員は定員より 2 名少ない 18 名でしたが、工夫しながら運営してきました。財政面も踏まえ、18 期は定員を見直し、18 名を募集します。このやりがいのある活動を通じて、仲間の声を代表し、組合活動に参加してみませんか。

今春闘では大きな成果は見られませんでしたが、昨年は AFRS 手当を含む確認主任者手当の改善や国内支店整備手当の新設など、要求を形にすることができました。まだ実現していない課題も多く、継続した取り組みが必要です。要求実現には、各職場の声を的確に反映することが重要であり、様々なシフトから役員を選出することで、無理なく交渉や活動に参加しやすくなります。団交では平行線の要求もありますが、会社も真剣に耳を傾けています。新たな執行委員の視点が、突破口につながる可能性もあります。

最近では、組合運営のオンライン化や AI 活用により、個人負担も大きく軽減されています。交渉や会議参加時の活動補償も充実しています。整備現業を中心とした組合ですが、幅広い要求を届けるためには、多様な職場からの役員選出が欠かせません。現在の執行部では間接職場の視点が不足していると感じています。ぜひ立候補をお待ちしています。

主な業務内容、待遇

- 月に数回の中執会議、年 6 回の中央委員会への出席。定期大会は 9 月 3 日に実施。
- JAL 経営との団体交渉、経営協議会 JALEC 各センターの説明会に参加。
- 休日や遅番前、夜勤前後の活動に参加した場合は各種手当あり。
- 航空連、安全会議などで JAL の乗員、CA また、ANA 系や管制官の方とも交流あり。
- 支店に出張し情報を伝えるオルグを開催。



7 月も各種協議で職場の声を伝えます

7/9 整備本部労協

「JALEC/整備本部 整備ビジョン 2035」の内容を中心に、JALEC 全般の 25 年度の振り返りと今後の見通しについて話し合います。各センター長や各部長が参加します。OMZ や支店の話はここで。

7/13 NPZ 労協

本部中執も成田まで行って成田支部と一緒に NPZ と協議します。エンジントラブルへの対応、スタンバイエンジンのことで聞きたい事があれば、連絡ください。

7/21 HMZ 労協

JLU の組合員の多くが働く羽田。日頃から感じている身近な問題、施設の不具合など細かい話もできます。組織体制や誤部品使用対策の４点確認シートの話もこちらで協議できます。

7/29 CSZ 労協

部品不足の原因は CSZ が一番わかっています。シップセンターとのコミュニケーションを課題として捉えているので、日々の運航を支える現場から率直な声を届けます。

【J-WING291（17-13）号 2026,06,30】